

心理学（心理学概論）

伊田 行秀

科目番号	配当学期	単位	クラス	研究室
0320 (0319)	通年	2	000	5号館 07-01号室

学修テーマ

心理学の対象と方法

学修概要

本科目は、心理学の幅広い領域における基礎的知識の修得を目標としている。テキストでは、章ごとに心理学の基本的な領域を取り上げて、それぞれ基礎的知識をまとめているので、テキストの通読に加えて、適宜他の参考書で補うことによって、この目標を高いレベルで達成してほしい。また心理学は、占いやゲームのようなものではなく、科学であること、あるいは少なくとも科学であることを目指している学問である。心理学の様々な研究例をテキストなどで確認することを通じて、心理学の研究方法も含めた幅広い知識の修得を目指してほしい。

到達目標

- ・心理学がどのような問題に取り組んでいるのか、すなわち心理学の研究対象について、心理学の幅広い領域にわたって理解できるようになる。
- ・心理学の研究がどのような方法で進められているのか、実験や観察、調査などの具体的な研究例とともに理解できるようになる。

テーマ・課題

テーマ	課題
1 外界と知覚	我々が我々の周囲の物理的世界をありのままに知覚しているのではないことを、実例を挙げて、できるだけ多面的に説明しなさい。
2 文字認知	文字の認知におけるボトムアップ処理とトップダウン処理について説明しなさい。
3 記憶と忘却	記憶の種類と忘却のしくみについて説明しなさい。
4 知識の構造	知識に関する階層的ネットワーク・モデルと活性化拡散モデルについて説明しなさい。
5 思考のバイアス	推理や確率判断において生じやすい誤りやバイアスについて説明しなさい。
6 知能と知能検査	知能検査の例をあげながら、知能指数と知能偏差値の違いについて説明しなさい。
7 対人関係のバランス	ハイダーのバランス理論について説明しなさい。
8 個人と集団	個人の認知に対する集団の影響と、集団の認知に対する個人の影響について、外集団と内集団の違いに言及しながら説明しなさい。
9 感情の生理的・認知的要因	感情体験における生理的要因と認知的要因について説明しなさい。
10 動機づけの種類	動機づけの種類にはどのようなものがあるか。欲求や認知過程との関連から説明しなさい。

11 性格の理解と診断	性格の理解と診断のための方法について、具体的な例を挙げながら説明しなさい。
12 自己概念の発達	自己概念の発達について説明しなさい。
13 認知の発達段階	認知の発達段階に関するピアジェの理論を、具体的な発達的特徴を挙げながら説明しなさい。

使用テキスト

著者	書籍名	発行所
北尾倫彦・中島実・井上毅・石王敦子	グラフィック心理学	サイエンス社

参考文献

著者	書籍名	発行所
梅本堯夫・大山正 編著	心理学への招待	サイエンス社
榎本博明	はじめてふれる心理学	サイエンス社
中島義明・繁樹算男・箱田裕司 編	新・心理学の基礎知識	有斐閣

レポート課題

書式：横書 ワープロ：可

「心理学の対象と方法」

レポート作成にあたっての注意

「心理学の対象」については、少なくともテキストの第1章から第7章の内容(知覚、記憶、思考、社会的認知、感情・動機づけ、パーソナリティ、発達)は取り上げること。テキスト以外の文献を利用する場合にも、概ねこれらに相当する内容は必ず取り上げること。その際、特に重要と思われる内容、あるいは個人的に特に興味を覚えた内容を具体的に紹介すること。ただ専門用語を連ねるだけの紹介ではなく、心理学の知識の全くない人が読んでもわかるような丁寧な説明を心がけてほしい。

「心理学の方法」については、テキスト等の中から適切な研究例を引き、まとめること。特にこの部分は、実験や調査等の具体的な例(実験等に使った材料や手順、結果など)がないと、心理学の方法がどのようなものなのかを伝えることは難しいであろう。

テキストの文章の書き写しは論外であるが、本テーマではそのようなやり方でレポートがまとめられるとはそもそも考えられない。一般的なまとめ方としては、対象については、章ごとにその全体、あるいはできるだけ広い範囲の内容に関わるような記述を取り上げてノートに書き出し、そのような記述から章のまとめを作成し、なおかつそのまとめに対応する具体的な研究例を選んで概要をまとめる、という作業を繰り返すことになろう。方法については、この時に取り上げた研究例の研究方法をそのつど簡潔に紹介する形にすると、比較的容易にまとめることができるであろう。

レポートは提出すれば終わりではなく、再提出を重ねるのが通常である。レポートが返却されたら担当者のコメントをていねいに読んで、何度でも書き直すつもりで取り組んでほしい。

レポートの評価基準

- ・「序本結」の形式に従って心理学の幅広い領域に言及していること
- ・心理学の対象と方法の両方について論じていること

単位修得試験について

持込：不可 筆記用具：自由

テーマ・課題のそれぞれについて、心理学の基礎的な知識に基づいた説明ができるように、しっかり準備しておいてください。

オフィスアワー

場所：研究室（5号館-07-01）

時間：水曜日 11時30分から1時間程度

連絡方法：メール